

総務企画委員会 県内所管事務調査の概要

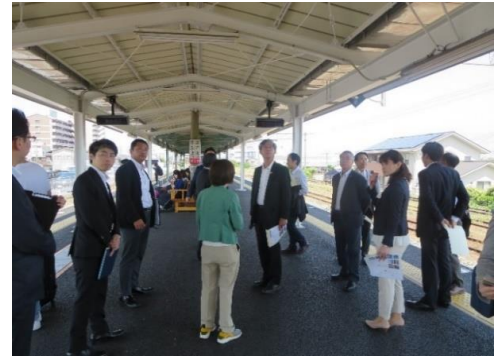
【令和元年6月6日（木）】

◆調査箇所：JR鶴崎駅（大分市鶴崎）

＜概要＞

九州旅客鉄道株式会社では、鉄道を利用する高齢者や障がい者など様々な方の利便性の向上を図るため、駅構内のバリアフリー化に取り組んでいる。

鶴崎駅は、2017年度の1日の利用客が県下で5番目に多い駅であり、昨年度までに改修した列車接近表示器、エレベーター、多機能トイレ、触知案内図、スロープ、盲導鈴などの設置箇所について視察し、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・利用状況や利用者からの要望について
- ・今後の県下駅構内バリアフリー化の計画について

◆調査箇所：豊肥振興局

＜概要＞

豊肥振興局における管内の概況と特性、令和元年度の重点項目、組織及び人員、災害対策、特定家畜伝染病防疫対策、地域活性化施策、小規模集落対策、地域課題の解決に向けた取組（祖母・傾・大崩ユネスコエコパークPRイベントや講演会の実施、中九州横断道路整備に伴う地域活性化の促進）等について説明を受け、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・大規模災害発生時の本部機能について
- ・ながたに振興協議会の継続的取組に向けた体制について
- ・地域振興における仕掛け人の役割について

◆調査箇所：竹8シネマプロジェクト実行委員会（竹田市玉来）

＜概要＞

竹8シネマプロジェクト実行委員会は、昨年度、市民から募集した8ミリフィルムをデジタル化して地域映画として編集し、新設した竹田市総合文化ホール（グランツたけた）にて国民文化祭の地域イベントとして上映会を行った。

説明はグランツたけたにて受け、貴重な映像も交えながら、制作過程を通じた市民の皆さんの反響や竹田ファンの獲得に向けた今後の展望などについて、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・活動資金の調達方法について
- ・竹田との出会いについて
- ・竹8シネマの今後の活用策について

◆調査箇所：ながたに振興協議会（豊後大野市犬飼町）

<概要>

犬飼町長谷地区では、過疎化や高齢化が進む中、地域住民が一体となって農地の有効活用や道路環境の整備等、地域の諸課題に取り組んでいる。

特に、荒廃した竹藪を何とかしたいとの思いから、竹の有効活用策に取り組んでおり、竹の伐採やチップ化作業について映像も交えながら説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・竹の伐採跡地の整備について
- ・堆肥の増産対策について
- ・事業の継続や今後の展望について

【令和元年6月12日（水）】

◆調査箇所：杵築市・杵築市観光協会（杵築市杵築）

<概要>

杵築市商工観光課及び杵築市観光協会から、城下町杵築の観光振興策や外国人観光客受入策などについて説明を受け、意見交換を行った。

平成29年11月の重要伝統的建造物群保存地区選定を追い風に、きものレンタル、Wi-Fi整備、多言語案内板の設置など国際的知名度向上に取り組んでおり、今後は高いレベルの通訳案内士の育成やナイトタイムエコノミー・城下町VR体験プログラムの開発などに取り組むことにしている。



<主な質疑等>

- ・きものレンタル事業について
- ・外国人観光客の動向について
- ・車いすへの対応について

◆調査箇所：東部振興局、別府県税事務所

<概要>

東部振興局における組織及び人員、管内の概況、危機管理対策、地域活性化施策、小規模集落対策、地域資源を活かした観光振興の取組等について、別府県税事務所における組織及び人員、令和元年度重点取組事項、平成30年度県税決算見込額、税目別調定額の累年比較・徴収率の推移等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・地域活力づくり総合補助金について
- ・大規模災害への対応について
- ・小規模集落等支援事業、ネットワークコミュニティの取組状況について
- ・不動産取得税の動向について

◆調査箇所：竹田津くらしのサポートセンター「かもめ」（国東市国見町）

<概要>

国見町竹田津地区では、過疎化や高齢化が進む中、地域住民が気軽に立ち寄れる拠点、竹田津くらしのサポートセンター「かもめ」にて、生活支援や買い物支援など、地域課題の解決に向けて取り組んでいる。

地域住民が「カフェ」や「食事会」のスタッフとなって住民相互で助け合う仕組みや、日常生活支援サービス「ちょい加勢」の取組などについて説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・参加者の移動手段について
- ・近隣の福祉施設との関わりについて
- ・自治会組織との連携について

【令和元年6月19日（水）】

◆調査箇所：鷺頭牧場農産物加工所（九重町田野）

<概要>

鷺頭牧場では、畜産経営や稲作に加え、農家レストランの経営といった6次産業化に取り組んでいる。飯田地区はブルーベリーの栽培が盛んであることから、地域資源を活用しようと新たに農産物の加工施設を整備した。

これまで取り組んできた歩みや、現状と課題についての説明を受けるとともに、新たな加工施設の視察を行い、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・来客者数、視察者数の動向について
- ・従業員の雇用状況について
- ・畜産産業における課題について

◆調査箇所：玖珠・森のクレヨン、森の米蔵（玖珠町帆足）

<概要>

社会福祉法人暁雲福社会では、玖珠町と連携し、豊後森機関庫公園を拠点とした、障がい者が働くカフェ・レストラン「玖珠・森のクレヨン」と、精米所の跡地を利用した多目的交流スペース「森の米蔵」を整備した。

これまでの活動内容や、玖珠町での障がい者の就労促進と観光振興に向けた取組などについて説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・玖珠町との連携について
- ・施設におけるパン作りについて
- ・障がい者の通学状況について

◆調査箇所：西部振興局、日田県税事務所

<概要>

西部振興局における組織及び人員、管内の概況、防災・災害対応、九州北部豪雨災害への対応、特定家畜伝染病対策、地域振興施策（地域活力づくり総合補助金、小規模集落対策）等について、日田県税事務所における管内の概況、組織及び人員、令和元年度重点実施事項、平成30年度県税決算見込額、県税調定額、徴収率の推移、平成30年度歳出決算見込額等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。

<主な質疑等>

- ・災害対応時の物資の供給について
- ・管内の景気動向について
- ・人口減少対策について



【令和元年6月20日（木）】

◆調査箇所：コミュニティカフェ&スペース「山望庵」 （中津市上如水）

<概要>

NPO法人アースデイ中津では、環境啓発活動に取り組んでおり、古民家を改修したコミュニティカフェ&スペース「山望庵」を整備した。

施設は、地産地消関連の起業や世代間交流等を支援する場として活用しており、これまでの活動内容やスペースで展開しているソーシャルワーク・カウンセリング事業などについて説明を受け、意見交換を行った。

<主な質疑等>

- ・アースデイ中津への参加状況と今後の展望について
- ・ひきこもり対策における中津教育事務所との連携について



◆調査箇所：北部振興局、中津県税事務所

<概要>

北部振興局における管内の概況、組織、防災・危機管理対策、中津市耶馬溪町金吉地区斜面崩壊の状況、地域振興施策（地域活力づくり総合補助金、小規模集落対策、地域づくり人材の育成）等について、中津県税事務所における管内の概況、組織及び人員、平成30年度県税決算見込額、県税調定額の推移、徴収率の推移、平成30年度歳出決算見込額等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。

<主な質疑等>

- ・ネットワークコミュニティの取組状況について
- ・自動車税の納期内納付率について
- ・自動車税の督促状況について



◆調査箇所：田染交流館「蔵人」（豊後高田市田染真中）

田染地区空家等対策連絡協議会では、過疎化や高齢化が進む中、古い酒蔵を「蔵人（くらびと）」として整備し、移住者と地元住民の交流の場として活用している。

地域ぐるみで空き家バンクへの登録や移住者の受入れを支援するこれまでの取組の説明を受けるとともに、新しく開設した図書館「蔵人文庫」などの施設を視察し、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・移住者の職業の状況について
- ・空き家バンクの登録状況について
- ・各種支援策の効果と市の財政状況について

【令和元年6月25日（火）】

◆調査箇所：中部振興局、公文書館、大分県税事務所

<概要>

中部振興局における管内の概況、組織、危機管理、地域活性化施策、小規模集落対策等について、公文書館における沿革・組織、施設・事業の概要等について、大分県税事務所における組織、管内の概況、平成30年度県税決算見込額、税目別調定額の累計比較・徴収率の推移、税目別収入未済額・徴収率の推移、特別滞納整理室の処理状況等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・管内市町村の地方創生への取組について
- ・小規模集落応援隊について
- ・公文書館における利用者の状況について
- ・自動車税の納期内納付率、延滞金について

◆調査箇所：国宝臼杵石仏（臼杵市深田）

<概要>

臼杵市おもてなし観光課及び都市デザイン課から、国宝臼杵石仏における観光客の利便性向上、安全確保のための環境整備や、外国人観光客受入策などについて説明を受け、意見交換を行った。

ラグビーワールドカップ開催を控え、説明看板の設置や施設の整備はもとより、体験メニューの開発、情報発信、海外プロモーション、モニターツアーなど海外への誘客対策にも取り組んでいる。



<主な質疑等>

- ・フランス人観光客からの人気について

◆調査箇所：西上浦地域振興協議会（佐伯市狩生）

西上浦地区では、過疎化や高齢化が進む中、地域の活性化を目指して地域振興協議会を立ち上げ、直売所の運営やみかんのオーナー事業、グリーンパイアの栽培などに取り組んでいる。

自然部会や直販部会などを設けて組織的に活動している状況の説明を受けるとともに、果敢に栽培に挑戦しているグリーンパイアハウスや新しく整備した直売所を視察し、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・海の魅力を活かした取組について
- ・グリーンパイア作りのきっかけ、販路拡大について
- ・みかんのオーナー事業について

◆調査箇所：南部振興局

<概要>

南部振興局における組織及び人員、管内の概況、地域振興施策（地域活力づくり総合補助金、食観光、祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク、スポーツツーリズム、沿岸地域の誘客）、小規模集落対策、危機管理対策等について説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・観光客の減少に対する対策について
- ・南海トラフ地震対策について
- ・人口減少対策について
- ・マリンカルチャーセンターの活用について

【令和元年6月26日（水）】

◆調査箇所：生活支援ボランティア「鶴鶴クラブ」（佐伯市鶴見）

鶴見地区では、過疎化や高齢化が進む中、地域住民が安心して暮らせる地域づくりを目指して、生活支援ボランティア「鶴鶴クラブ」を設立し、交流拠点施設の開設や困りごとへ対応する生活支援サービスに取り組んでいる。

これまで取り組んできた歩みや、現状と課題についての説明を受けるとともに、地域交流拠点「さざなみ」の視察を行い、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・利用者の移手段について
- ・ボランティアの登録状況について
- ・見守り活動について

◆調査箇所：公益財団法人大分県自治人材育成センター（大分市旦野原）

<概要>

同センターは、県内の自治体職員の人材育成や研修の充実に向け、県と市町村職員の研修を一元的に行っている。

地方創生の実現に資する人材育成を推進するため、職員が主体的・自発的に能力開発を行いキャリア形成が図られるよう研修内容の充実に取り組んでおり、令和元年度の研修計画や平成30年度の実施状況等の説明を受けるとともに、受講中の研修現場の視察を行い、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・希望研修の状況について
- ・意見交換会の状況について
- ・民間との交流について

◆調査箇所：大分スポーツ公園（大分市横尾）

ラグビーワールドカップの試合会場となる大分スポーツ公園の施設の整備状況について、県ラグビーワールドカップ2019推進課及びラグビーワールドカップ2019組織委員会から説明を受け、意見交換を行った。

観客席・記者席の改修や監視カメラの設置、照明施設の増設、グローライトの導入、拡張部分の天然芝の敷設状況などの調査を行った。



<主な質疑等>

- ・電源の確保について
- ・チケットの販売促進について
- ・二酸化炭素削減の取組について

◆調査箇所：公立大学法人大分県立芸術文化短期大学（大分市上野丘東）

<概要>

大分県立芸術文化短期大学の学科構成、機構・職員組織、教育課程、志願者・入学者の状況、卒業生の進路状況、地域との連携、キャンパス整備等について説明を受け、意見交換を行った。

引き続き、新しく整備された図書館や音楽ホール棟などの各施設の視察を行い、キャンパスの整備状況を調査した。



<主な質疑等>

- ・キャンパス整備の効果について
- ・バリアフリー化について
- ・進学状況について
- ・芸術緑丘高校との連携について